

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第271号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2008年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

第44回 建学祭「We can do it!!」

来校者過去最多の6,277名



この門を6,277名が通りました



中等部では環境問題について学習発表をしました



中等部による合唱祭

建学祭開催



みんなでつくった建学祭

建学祭実行委員長 三並 拓馬 3年1組 横浜市立奈良中学校出身

今年の建学祭来場者数は昨年度を上回る6,277名で、3年連続の増加を記録しました。これは、生徒一人ひとりの頑張りの結果だと思えます。また、今年で2年目となる中等部の合唱祭は大盛況に終わり、高校の英語スピーチコンテスト、日本語ディベート大会、英語ディベート大会はいずれも接戦で例年にも増して盛り上がりを見せました。

今年で3度目となる知財グランプリでは、評価をつけるのに迷うほど、どの団体も工夫がなされていました。また、今年度から創設されたポスター部門も、完成度の高い作品ばかりでした。建学祭は確実に良い方向に進化を続けています。昨年のテーマである「一期一会」は引き継がれ、みんなが建学祭を大事にしてお互いに協力し、今年のテーマである「We can do it!」では、どの団体も建学祭をいい思い出にするために一所懸命に活動しているように思えました。協力してくださった皆様に感謝申し上げます。

英語スピーチコンテスト

伝えたいという強い気持ち

宮崎 紅

1年5組 横浜市立日吉台西中学校出身

私ははじめ、スピーチでみんなに何を伝えればよいのか、また、それを英語でどう理解してもらうのかとても悩みました。しかし、自分の言葉で自分らしく、そして、みんなに伝えたいという強い気持ちで臨みました。

私が優勝できたのは、この強い気持ちを持たせてくれたネイティブの先生方や友達の支えのおかげです。本当にありがとうございます。



英語スピーチコンテストに出場した皆さん



日本語によるディベートの様子(2年3組9組)

英語ディベート大会 3年1組優勝

●英語ディベート大会論題●

"Takanawadai High School should do away with school uniforms"

A big 「Thank you」 to everyone.

マリNZ 晃治

3年1組 浦安市立日の出中学校出身

私たち1組は、英語によるディベート大会で優勝することができました。英語でやるからには負けられないプライドがありました。限られた時間の中で、お互いの長所を活かしながら協力し合い、最高のものを作ることができました。協力してくれた方々、そして一緒に戦ってくれた仲間感謝の気持ちでいっぱいです。

今年1年間は、部活動を含め本当にたくさんの人の支えがありました。人は1人では生きていけないことを強く感じました。 Thank you, everyone.

日本語ディベート大会 2年3組優勝

●日本語ディベート大会論題●

「日本は動物園を廃止すべきである。是か否か。」

最高の金メダル

佐羽内 由香

2年3組 目黒区立第十中学校出身

私たちは「動物園廃止」というテーマで、このディベートに臨みました。はっきり言って最初はみんなやる気がありませんでした。ですが建学祭が近づくにつれ、全員が「やるからには勝ちたい」と思うようになりました。みんなそれぞれ自分にできることを考え協力して、本番では全力を尽くせたと思います。この6人でディベートをしたことがとても良い思い出になりました。



英語ディベート大会に参加したメンバー(3年1組11組)

2008年度 第3回知財グランプリ結果

今年度で知財グランプリは3回目となりました。知財グランプリの影響でしょうか、毎年、企画や装飾など工夫を凝らした面白い内容になっていると思います。たとえば模擬店の装飾では立体的なものやオブジェなどが作られたり、展示でもこれまでには見られないものが企画されたりしました。そのためか審査も難しく、各審査員も選考に大いに悩みました。改めて説明をすると知財グランプリとは、生徒、保護者、教員の代表、計9名が、内容・取り組み・装飾・ポスターという4つの観点から審査を行い、表彰するというものです。



グランプリ 3年4組 お鳥混み中です

前庭で焼鳥を販売したクラスです。装飾のデザイン、取り組みで高い評価を受け、全体として洗練された印象を受けました。オリジナルのエプロンやポスターもよくできていました。

準グランプリ 1年9組 予想的中!! ～まさかのストーリー～

このクラスは劇を行ったのですが、劇の途中でクイズを行い、展開や結末を予想するというものでした。アイデアがとても斬新であり、観客も一体となって劇に参加することができました。劇も3つのストーリーを用意し、その装飾も実際の劇場風になっていました。



3年11組 鯛屋喜

たい焼きという難しいメニューに取り組み、そして装飾などでも工夫が見られました。味も大変よかったですと思います。

今年度からポスター部門を新設しました。ポスターもただの告知的な内容にとどまらず、立体的にしたり、レタリングに凝ったりと、工夫したものが多く見られました。

ポスター 部門賞 3年1組 細だこ

レタリングやテクニックに優れ、雑誌風のデザインが高い評価を受けました。



惜しくも受賞は逃しましたが、3年6組が「めっちゃつるつるやーん」は春雨という新しいメニューを企画したり、去年、準グランプリであった3年5組が「ギネスに挑戦!」ではいろいろな記録に挑戦したりと、とてもユニークな内容が見られました。

これからも知財グランプリをひとつのきっかけとして、工夫を凝らした素晴らしい企画が建学祭で行われることを期待しています。

航空操縦学専攻(パイロット養成)合格内定



花本 航

3年5組
練馬区立開進第一中学校出身

る為にこの高校に入学し、航空操縦学専攻を志望しました。この専攻では、航空操縦学に特化したカリキュラムがあり、

乗客乗員それぞれの思いや人生を、機体ごと預かって目的地まで安全に運ぶ、その大きな重責を担う機長は、私にとって幼い頃からの憧れの存在でした。その仕事に従事するという夢を何とか果たしたいと思っていました。それを実現す

それは私の夢の実現に繋がると思います。しかし、同時にそれはとても狭き門でもあると感じました。

私は、学校の勉強はもちろんのこと、英語力の向上、航空身体検査に向けての体調管理に日々勤しんできました。結果、それが実を結んだことをとても嬉しく思います。しかしながら、これからの大学4年間は、より一層大変で重要なものだと、ひしひしと感じており、夢の実現に向かって邁進していきたいと思います。また、私は将来、責任感あふれる大型旅客機のパイロットとして第一線で活躍すべく、厳しい道のりも覚悟の上で、これからも頑張っていきます。

2008年度学校運営方針

現代文明論、知的財産教育の実践と定着

●『高校現代文明論』とは

高校現代文明論は、自らに「人生如何に生きるべきか」と問いかけ、意義ある人生を送るため、多様なものの見方の中から、正しいものの見方・考え方を確立し、人道主義・人格主義に基づいた思想を培うことを目的とした教科です。

今年度本校では、高校現代文明論の「枠組み」に従い、第1学年において、1単位、学級担任が受け持つ他、副校長が前後期それぞれ1回、各クラスを巡回し授業を行います。また、学級担任の受け持つ授業は、約4時間を一つの固まりとしたユニット授業を展開します。それぞれのユニットで、

第1ユニット	「建学の理念」 創立者の生き方を通して現代文明論の成り立ちを理解する。
第2ユニット	「経済活動におけるモラル」 経済活動におけるモラルとしての知的財産権の重要性を理解する。
第3ユニット	「グループテーマの決定、プレゼン・リサーチのスキル習得」 「科学技術とモラル…科学倫理」について理解し、グループ活動のための準備を行う。
第4ユニット	「グループ発表」 リサーチの結果をグループ発表することにより、テーマについての理解を深め共有する。
第5ユニット	「ディベートスキル」 ディベートスキルを身に付ける。
第6ユニット	「グループ対抗ディベート」 グループ対抗ディベートを通してテーマについての理解を深める。
第7ユニット	「年間テーマのまとめ」 これまでの成果をまとめ、レポートを作成する。

という学習を進めることにより、現代文明の諸問題を個別的・網羅的に学ぶのではなく、建学の精神を具現化するため、すべての教科目に共通の「主体的な学び」のモデルとなる問題発見・解決型の学習姿勢・方法を身に付けることを目標とします。

●知的財産教育への積極的な取り組みを推進する

…………… 科学や技術を創造する個性あふれた人材の育成・教育を目指して ……………

資源の乏しいわが国は、「科学技術創造立国」または「知的財産立国」を実現することによって、平和で個性あふれる豊かな国づくりに積極的に取り組んでいます。そのために、科学や技術を創造する個性あふれた人材の育成・教育が求められています。本校では、東海大学との連携のもとで、「知的財産教育推進委員会」が中心となり、「高校現代文明論」「ホームルーム」の時間を活用する他、学園オリンピックの「知財部門」への生徒の積極的参加を促し、「知的財産教育」を推進していきます。

ちなみに、今年度は2年5組の戸張 翔太くん、3年5組の田中 有香さんが、予選を突破し、孺恋高原研修センターで実施された「学園オリンピック夏季セミナー」に参加して、戸張君がみごと優秀賞を獲得しました。

第1学年	高校現代文明論の中で、4時間を使って、「経済活動におけるモラル」と題して「知的財産権とは何か」を学びます。
第2・3学年	ロングホームルームを使って、「知的財産の創造」を学びます。
建学祭で「建学祭知財グランプリ」賞を設定し、もっとも独創性と主体性が発揮されたものを表彰します。	

SSH活動報告 ～科学倫理～

『科学倫理』は、科学技術のもたらす諸問題についての理解を深め、科学が進むべき方向と、自分自身の科学への今後の取り組み方を、全教科の教員による指導のもとで考えることをねらいとした本校独自のSSH学校設定科目です。授業では5人ずつのグループに分かれ、「生命倫理」・「環境倫理」・「科学技術の平和利用」の各分野の問題に取り組み、夏休み中のリサーチをもとにグループ発表を行った後、研究成果を個人レポートにまとめます。

科学倫理と防災技術

吉村 翼

3年11組 大田区立矢口中学校出身

私たちは「防災科学技術の現状と課題」をテーマに夏休み中に、つくばにあるNIED防災科学技術研究所へ見学に行きました。

私がこのテーマを選んだ理由には、以前から地震のメカニズムや緊急地震速報などの仕組みについて興味があったからであり、地震対策について学びたいと思ったからです。

つくばの研究所は、日本各地に展開する研究所のなかの本所にあたり、主な実験設備としては、地震の震動によって生じる被害を研究する“大型耐震実験施設”や、豪雨などの大雨によって生じる被害を研究する“大型降雨実験施設”などがあり、それらを見学させていただきました。見学時はちょうど降雨による土砂崩れの実験をしているところでした。

施設見学を終えてみて思ったことは、なかなか倫理的な視点を見いだせないことでした。科学倫理とは、明確な答えや決まった結論がない学習教科だと思います。ですから、実際に現地を訪れて情報として得たデータや、それから考えた自らの考察なども交えて自分なりの結論を導き出していきたいと思います。



鈴木まもる氏による鳥の巣から学ぶ環境問題についての授業

農水省訪問

伊藤 恵里香

3年11組 大田区立大森東中学校出身

最近、物価の上昇、偽装問題など食品に関する問題を目にします。私達はこの問題に着目し、さらに詳しい知識を得るため農水省を訪問しました。そこで私が興味を持ったテーマは遺伝子組み換え食品についてです。人体に影響があるのか。表示規制はあるのか。今までの疑問に対して農水省の方は的確に細かく答えてくれました。さらに、遺伝子組み換えについての冊子をいただき、口答だけでは理解できなかった部分も理解することができました。農水省の回答は遺伝子組み換えに人体への影響はないということでしたが、他の参考文献には動物に害があると記されていました。私は食品以外ならば、使用を許可してもよいと思いますが、人体への影響がある可能性が少なからずあるならば、組み換え食品を認めるべきではないと考えます。丁寧に対応して頂いた農水省の方々に感謝し、訪問で得た情報をもとに11月の発表に繋げたいと思います。



東海大学医学部の研究所を訪れました

生前発効の遺言

日山 顕三郎

3年11組 横浜市立橋中学校出身

私たちは、生命倫理の中でも「生命の終末」について調べました。調べようと思った理由は、私は看護師を志望していて、将来、仕事の中で人の死と直面する場面が多くあると思うからです。そこで、今のうちからそのことについて出来るだけ学んでおきたいと思いこのテーマを選びました。

私は、梶川先生から日本尊厳死協会の存在を知りました。日本尊厳死協会とは、主に「リビング・ウィルの普及」と「尊厳死法制化」を目的にしている団体です。そこを訪問して、尊厳死と安楽死の違いや、法制化の必要性、「リビング・ウィル」についてなどの話を聞きました。「リビング・ウィル」とは、心身ともに健全なとき、自分が不治末期の病状や植物状態になったときの苦しみを避けるために、延命治療を一切断ることを、あらかじめ記しておく書類のことです。日本語に直すと、リビングは「生きている」、ウィルは「遺言」または「意思」で、「生前発効の遺言」の意味です。

私はいろいろな話を伺って、人によって死の感じ方や、受け取り方はまったく違うので、この倫理問題は永遠に終わることはないだろうと思いました。終末期医療の現場では患者さんの意思を一番に尊重すべきだと感じました。

この学習を将来に活かし、これからも「人の死」について考え続けたいと思います。



グループ発表の準備

中等部1学年だより

前期を終えて

新しい出会いを経て

中等部学年主任 田中 亨

中等部の新入生達は、前半6か月間をどのような思いで過ごしてきたのでしょうか。地元のつながりを離れたところで、いろいろな地域から来ている生徒たちとの交流があり、大いに刺激がある中等部の生活を送り始めたのではないかと思います。この年頃は、人と人との変わりから多くのことを学んでいくものです。しかし、大人

のように最初から人間関係をうまく保っていかうにも、なかなかうまくいかないことが多いのもこの時期です。それを乗り越えて、部活動やクラスでの取り組みに汗を流し、失敗を乗り越えていく姿を数多く目にした半年でした。

部活動では、先輩・後輩という人間関係を初体験し、先輩達に目をかけてもらい、それぞれが成長する大きな糧となっているようです。大人達からどうこう言われるよりも、先輩達からの声の方が心に響くことも多々あるようで、先輩達の存在なしには現在の1年生のことを語れないという感を強くしています。

前半戦しゅーりょー!!

甲田 麻依 1年A組 世田谷区立中丸小学校出身

この学校に入学してから半年が過ぎました。私の中で一番心に残ったことは「剛健旅行」です。私達1年生はもちろん初めての経験でした。初めに15.8kmも歩くと聞いた時は驚きをおぼせましたが、友達と一緒にだったので安心して楽しんで歩くことができました。

また、部活動では、「陸上競技部」に入部しました。気の合う仲間もできて、普段の練習はとても楽しいです。夏休みに新潟で行われた合宿では、同級生以外にも中等部や高校の先輩とも交流を深めることができました。その合宿も楽しかったですが、練習は普段の練習と比べて辛くて大変でした。でも8月に行われた大会に参加して、練習の成果を出すことができたので嬉しかったです。

この前半戦は初めてのことでばかりで大変でしたが、後半戦も様々な行事に積極的に取り組んで楽しい学校生活を送りたいです!!

前期をふり返って

福田 和生 1年B組 江東区立第三大島小学校出身

僕が前期で一番頑張ったのは部活動です。僕は今ソフトテニス部に所属しています。小学4年生の頃硬式テニスのスクールに通っていましたが、受験のために5年生の途中でやめてしまいましたが、中学校に入学してまたテニスをするを楽しみにしていました。

そして楽しい部活動の中でも一番心に残ったのは合宿です。最初ソフトテニス部に入った時は、いくらテニス経験があってもなかなかうまくいかず、ボールが山なりに飛んでいただけでした。でも夏休みに行った合宿では先輩にいろいろと教わり、僕もしっかりボールが飛ぶようになりました。トレーニングメニューはキツかったですが、友達と過ごした時間やみんなとテニスをした時間はとても楽しかったです。

今はまだ速いボールをうまくラケットの真ん中にあててボレーで返すことが苦手です。後期はもっと練習してボレーやスマッシュなどもっと上達できるように頑張りたいです。



4月・オリエンテーション合宿



5月・サッカー部



6月・朝読書



9月・授業風景

中等部2学年だより

建学祭を振り返って

昨年度の建学祭では日常の学習発表としてさまざまな作品を展示しました。今年度は環境について、各クラス4つのグループに分かれ、物理化学・地理歴史・生物地学・公民の4分野の視点から調べ学習・発表を行いました。調べたことをただポスターで発表するのではなく、実験をしたり、ペットボトルを用いて人間の出す二酸化炭素と木一本の出す酸素の量を表したりと、自分たちでそれぞれ発表の方法も考えました。生徒たちは昨年以上に互いに協力し、主体的に動くことができるようになり、この一年で大きく成長した姿が見られました。

私のエコマーク

石川 恵里香

2年A組 大田区立大森第四小学校出身

私が考えたエコマークは「エコ」だけのマークではありません。「世界平和」のマークでもあります。世界では今、みなさんが知っているように地球温暖化がとてつもない深刻な問題になっています。そのことについて

建学祭で展示発表した友達もいました。また、人と自然の間ではなく、人が人を傷つけている「戦争」も、なくなることなく世界でおこっています。戦争がなくなれば、世界中の人全員の協力で地球を助けられると思います。このような想いを込めて、このマークを作ることにしました。このエコマークを通してもっと自分にできるエコ活動をしようと思っています。

☆エコ大賞☆

中等部第2学年では環境問題について考える中で、エコマーク・エコ川柳を生徒たちに考えてもらいました。個性的な作品が揃う中、A組・B組それぞれ来て下さったお客さんに投票していただきました。以下が受賞者と受賞作品です。おめでとう!!!

エコマーク

A 組

グランプリ 石川 恵里香



準グランプリ 高橋 優輔



B 組

グランプリ 磯和 優海



準グランプリ 吉沼 侑貴



エコ川柳

A 組

グランプリ 宮吉愛瑠
 買い物で いつも一緒に MYバッグ
 準グランプリ 野田紗貴
 締めました? 使ったあとの 再確認(蛇口について)

B 組

グランプリ 村上来地
 迫り来る 資源の終わりと 向き合おう
 準グランプリ 田村祥子
 28歳 地球を冷めます あいことば

高校1学年だより

能力でも、経験でもない、姿勢が一番大事

高校第1学年主任 米谷 昭人

今回は、バスケットボール部の監督を8年間やってきて感じたことを書きたいと思います。バスケットボール部には、中学校時代に活躍していた生徒や、活躍できていなかった生徒、バスケットボール初心者等さまざまな生徒が入部して毎日練習に励んでいます。高校で活躍する選手になる生徒は共通点があるように感じています。それは、練習はもちろんのこと、日常生活、学習に

取り組む姿勢が他の生徒と大きく違うというところで。特別能力があるわけでもなく、全国大会等に出場しているわけでもありませんが、日頃の姿勢が素晴らしいと感じられる生徒が最終的には活躍しています。皆さんはどうでしょうか？自分の能力や、経験にあぐらをかいてはいないでしょうか？日頃の姿勢をおろそかにしてはいないでしょうか？能力や経験があることは素晴らしいと思いますが、それを生かすためには姿勢が大事だと言うことを頭の片隅に入れ、これからも頑張ってもらいたいと思います。

日々全力で

5組学級担任 川島 純一

大きな期待と少しの不安を抱えて高輪台の門をたたいて半年が過ぎました。前期を振り返ってどうでしたか？勉強、部活動、仲間づくり等々、高校生活に熱中できていますか。今、6か月を振り返るとあっという間に感じることでしょう。人は未来をみると「ああまだ2年半あるから大丈夫」、「2年半は長いなあ」と思うものです。未来に希望を持って明日を見て進んでいくことは大切です。しかし、そこに大きな落とし穴があるかもしれません。また明日、また明日と先延ばしにしていますか。部活動、勉強等、ただなんとなく毎日やっていま

せんか。この6か月があっという間であったように実際のスピードは過去を振り返るとよくわかります。3年間はまだ速いスピードで流れていくことと思います。

だから皆さんの大切な高校生活を後悔しないように、日々全力で今できることに熱中して下さい。高輪台高校を卒業したということはさほど重要ではありません。高輪台高校で何をしたか、自分自身に何を残したかが大切です。皆さんは高輪台の3年間で何を残しますか。時にはふと立ち止まり自分の過去を振り返ることで時が経つ早さを感じて下さい。ああまずいまずい、そんな私もまだできることややりたいことが沢山ある。皆さんとの高校生活もう半年が終わってしまったのに。



東海大学湘南校舎見学



体育移動教室



スポーツ大会

高校2学年だより

第2学年 建学祭特集

9月30日の体育祭が雨天のため順延となり、そのエネルギーもいっしょに建学祭にぶつけました。こちらは天候に恵まれ、4月にクラス替えをしてから半年、ますますクラスの結束が固まったのではないのでしょうか。

下のコメントは、建学祭クラス委員に今年の感想や来年の抱負を書いてもらいました。

1組

びっくり屋敷 (巨大ジェンガ・卓球・アウトロクイス)

いつも仲の良い1組が、今まで以上に一致団結して建学祭に取り組みました。



2組

高輪の泉 (和菓子と飲み物)



We are only 1☆
目指すは高輪の頂点！
2組大好きっ！はい♡

3組

ジューシー屋さん (ゲーム)

ジューシー屋という名のゲームコーナー。騙された！と思った人も楽しんでいただけたのでしょうか…



4組

24 (ボーリング・輪投げ・トランプ)



準備の時には上手くいかず不安だったけれど、建学祭当日、たくさんの人の笑顔を見ることができて良かった。

5組

かずーみあいす (アイス)

みんなで楽しくできました。来年は最後の建学祭なのでもっと楽しくしたいと思います。



6組

ピンポン☆ダッシュ (人探し・卓球)



軽音、吹奏楽、ダンス部もすごかったけれど、一番すごかったのはクラスで働いてくれた人。

7組

一代の休日 (ゲーム)

建学祭を通して以前のクラスより団結力が強まりました。来年も協力し合いたいです。



8組

迷子になろう (迷路)



最高の建学祭ができた。クラスが一致団結し、そして、今まで見たことのないみんなの姿を見ることができた。ありがとう！建学祭！

9組

Pirate of めい郎 (新居) (迷路・ゲーム)

9組での2度目の建学祭。皆の協力で、とても良いものができました。次こそ模擬店を！



高校3学年だより

残りの日々

中村 春樹

学年所属

3年間の高校生活も最後の学期となりました。部活動においては最後の大会を終え、多くの部活動で3年生は引退し、2年生にバトンタッチしたことでしょう。また、生徒によっては進路先が決まり、「卒業」の2文字を意識する時期になってきたのではないのでしょうか。後期がはじまってすぐに建学祭という大きな行事がありました。この先の人生において、50人近くの同じ年齢の仲間と1つの事を一緒に取り組むことはないと思います。今までの高校生活で思い出に残っていることはありますか？やり残

したことはありませんか？何を成し遂げましたか？今、何ができますか…？

まだ、高校生活が終わったわけではありません。僅かではありますが、高輪台高校での時間は残っています。残り少ない時間を大切な仲間と共に過ごし、有意義なものにして欲しいと思います。11月22日のアリーナで行われるスポーツ大会では熱く燃えている姿が見られることを期待しています。

東海大学体験留学ガイダンス

若林 政和

学年所属

湘南・伊勢原・高輪校舎にて、秋学期「体験留学」のガイダンスが9月24日に実施されました。本校から29名が参加し、説明を受けて受講票を提出してきました。週1日～2日(2コマ～3コマ)を9月26日から1月20日まで受講し、1月24日からの秋学期定期試験を受験します。受講料は無料で合格点を取りますと大学入学後、自己申請することにより単位が認定されます。

業の単位を取りたい。自己管理をきちんとして、高校の授業もしっかりやり抜きたい。

【理系志望Bくんの抱負】大学では自分の責任で全て選択・行動し、掲示板にも注意を払う。早くから大学の授業を受けたかったので楽しみにしている。高校の授業と並行して厳しいが必死で努力し、3回(中間2回・期末1回)の試験で合格点を取って単位修得したい。

【文系志望Aくんの抱負】ガイダンスでは大学生活で疑問が起きた時、どのように対処するか分かったのでこれから楽しみです。早くから大学に慣れて自分の受けたい授

「辛抱とは辛いことを抱きしめること、それはやがて自分を支える心棒となる!」

建学祭の様子



中等部活動紹介

ソフトテニス部

- 顧問 野々村 淳
- 人数 1年女子8名, 男子7名
2年女子3名, 男子4名
- 活動内容

水曜日→校内トレーニング、金曜日→東海大学コート、土曜日→さいたまグラウンドで活動しています。練習は高校生から指導をってもらう形で一緒に行っています。合宿も一緒に行っています。

剣道部

- 顧問 笹木 春光・今井 貴志
- 人数 1年女子2人, 男子5人
2年女子1名, 男子2名
- 活動内容

基本的に高校生と同じメニューで週6日の活動を行っています。稽古内容は、基本を重視しながらも三本勝負や地稽古といった実践的な内容も盛り込んでいます。夏の大会では男女1名ずつが地区予選を勝ち抜き都大会への出場を決めました。男子が初めて5人揃ったチームで出場する新人戦は、男女ともに都大会出場を、そして都大会での上位入賞を目指しています。

サッカー部

- 顧問 江口 淳二・中村 仁
- 人数 1年生男子8名
2年生男子10名
- 活動内容

都大会に出場して勝てるチームになるために、火曜と木曜はテニスコートで基礎練習とミニゲーム、金曜は芝給水グラウンドでシュート練習やゲーム、土曜・日曜はさいたまの本校グラウンドで試合を意識した練習を行っています。

陸上競技部

- 顧問 小松原 洋行・清水 友里
- 人数 1年女子4名, 男子7名
2年女子5名, 男子11名
- 活動内容

本校のグラウンドや校内、東京体育館で週5日活動しています。部員は短距離、中長距離、投擲に分かれ、各大会での上位入賞を目標として練習に励んでいます。本年度は新潟県南魚沼郡で夏合宿も行いました。

男子バスケットボール部

- 顧問 長田 一水
皆川 勇太・米谷 昭人
- 人数 1年6名 2年12名
- 活動内容

平日は月曜・木曜はアリーナ練習、火曜・金曜はキャットウォークなどを使いトレーニングを行っています。また、土曜・日曜のどちらかはアリーナ練習です。8月に行われた港区夏季大会では初勝利を収めることができました。

マルチメディア部

- 顧問 若井 牧夫・島田 聡
- 人数 1年男子2名
2年男子2名
- 活動内容

RPGツールというPCゲームを製作するソフトをつかって、ゲームを制作します。ストーリーの展開や構成を考え、それに見合った音声もつけるクリエイティブな活動です。

吹奏楽部

- 顧問 畠田 貴生・山口 恵美子
石井 みなみ・田村 基成
古谷 知永
- 人数 1年生女子9名
2年生女子6名, 男子2名
- 活動内容

基本的には高校生と共に活動しています。中学生だけの活動としては、夏に行われる東京都中学校吹奏楽コンクールへの出場(銀賞受賞)や、アンサンブルコンテストへの出場などがあります。最近では地域への活動も考えているところです。

ESS同好会

- 顧問 マイロ・吉田 恵美・田中 亨
- 人数 1年生女子1名, 男子2名
2年女子4名
- 活動内容

英語圏で行われているゲームや料理に挑戦したり、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティーを開いたりして、英語そのものだけでなく英語圏文化についても学んでいます。また、英語の映画を見ながら会話を学んだりもしています。

女子バスケットボール部

- 顧問 金 恵潤・高橋 佑未子
皆川 勇太
- 人数 1年5名 2年8名
- 活動内容

月曜・木曜・土曜か日曜のどちらかはアリーナ練習、火曜・金曜は筋トシをしています。バスケットボールを通して学べることはプレー以外にたくさんあります。チームワーク・一生懸命に努力する大切さ・礼儀などを学べます。アリーナを使用できる曜日は限られていますが、みんなで協力し合い、公式戦で一勝できるように日々の練習に励んでいます。

放送部

- 顧問 森 公法・工藤 優樹
- 人数 1年男子1名
2年女子2名, 男子1名
- 活動内容

映像番組作成を行っています。今年度は『環境保護隊～私と地球の約束』というタイトルで、環境問題についての番組を作成しました。作品はNHK杯の東京都大会本選にも出品をしました。今後は番組作成以外にもさまざまな活動を行っていきたくと思っています。

物理化学部

- 顧問 梶野 雄二・石井 良
- 人数 1年女子1名, 男子7名
2年男子3名
- 活動内容

火曜日から金曜日の放課後と長期休暇中に活動しています。本年度は初めて中高合同で夏合宿を実施し、奥多摩で動植物の観察や水質調査を行いました。建学祭では夏合宿の成果と日々の研究成果を発表し、多くの来校者の方々にご見学いただきました。今後は外部の発表会などにも積極的に参加していく予定です。



夏合宿の様子(物理化学部)

※ここに掲載されていない部活動は12月号に掲載いたします。

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月22日、7月10日に「生徒による授業評価アンケート」を行いました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプA候補として中等部3名、高校6名の先生方が候補として決まりました。保護者の皆様には、11月13・14日の「一斉公開授業」をはじめ11月21日までのご都合の良い日にご来校の上、9名の先生方の授業をご覧いただき、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

【2008年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

中等部	野口 大輔	国語科
	工藤 優樹	社会科
	高橋 光太	数学科
高等学校	田島 一代	国語科
	東出 葉月	国語科
	宮島 孝一	地歴公民科
	高橋 光太	数学科
	山本 祐美	保健体育科
	古谷 知永	芸術科(音楽)

※付記

以下の過年度ベストティーチャータイプAの受賞者は規約により、以下の先生方は受賞後3年間は候補より除外されています。

2005年度：関根・米谷・川島

2006年度：今井・田中亨・山口

2007年度：伊藤明・石井良・小松原

※授業実施時間は学級担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は後日お知らせいたします。

行事予定

November // 月

December 12月

- 1日(土) 学園建学66周年記念式典(湘南校舎)
- 3日(月) **文化の日**
- 4日(火) 朝礼、建学記念式典
付属推薦合格発表手続期間(高3～14日)
- 5日(水) 専門医によるカウンセリング
- 6日(木) **マナー講習会(中1)**
- 7日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 8日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 12日(水) 月曜日の授業
- 13日(木) 一斉公開授業②
- 14日(金) 一斉公開授業②
- 15日(土) 保護者会(高1)、東海大学付属推薦者保護者会(高3)
- 16日(日) 英検2次、受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 19日(水) 金曜日の授業
- 20日(木) 生徒会立会演説会(1限目)、校医相談日
- 22日(土) **スポーツ大会(高3、アリーナ)**
- 23日(日) **勤労感謝の日**
- 24日(月) **振替休日**
- 25日(火) 月曜日の授業
- 27日(木) 生徒による授業評価アンケート③
- 29日(土) 後援会委員総会

- 2日(火) 後期中間試験(中等部～3日)(高1、高2～5日)
卒業試験(高3～5日)
- 4日(木) **スポーツ大会(中等部 アリーナ、午後授業)**
- 5日(金) **校外行事(中等部)**
- 6日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 8日(月) 自宅学習日(高3)
- 9日(火) 答案返却日(高3)
- 10日(水) 朝礼、特別講座開始(高3)
- 13日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 15日(月) 生徒自宅学習日(高校入試相談日)
- 16日(火) 保護者面談(中等部～26日)
- 18日(木) 第28回ヨーロッパ研修旅行(～27日)、校医相談日
- 23日(火) **天皇誕生日**
- 24日(水) 火曜日の授業、冬季休暇前諸注意、大掃除(7限目)
- 25日(木) 冬季講習(～26日)
吹奏楽部第19回定期演奏会(川崎、～26日)
- 27日(土) 臨時休業日
- 28日(日) 年末年始休暇(～1月5日)

建学祭のスナップ



編集後記

今年は1年間で選ばれる人数としては過去最多の4人の日本人がノーベル賞を受賞することになった。3人が物理学賞、1人が化学賞だった。日本は「科学技術立国」を看板に掲げながら、「理科離れ」に歯止めがかからず、2007年に行われたPISA調査※では「科学への興味・関心」は世界最低の水準にまで落ち込んでしまった。今回の4人の受賞がきっかけとなり「理科好き」の生徒が増えることを期待したい。(か)

※OECDが2000年から3年ごとに実施している15歳(日本では高校1年生)を対象とした国際的な学習到達度調査

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ:<http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>